

普及現地情報

発信年月日：平成 30 年(2018 年)11 月 13 日

所属名：湖東農産普及課

番号：F18010

部門分類：340 鳥獣害対策

発信者名：木村 數野 中嶋

獣害対策先進地研修会を開催

当課は 11 月 13 日、甲賀市土山町大澤で獣害対策先進地研修会を開催しました。管内の 4 集落と関係機関から 16 名が参加し、大澤集落における集落ぐるみの獣害対策の取組の中から特に成果を上げておられるサルの被害対策について研修を受けました。

湖東管内でも防護柵の設置が進み、野生獣の被害は減少傾向にあります。しかし、防護柵だけでは止められないサルの被害の増加が問題化してきています。そのため、集落ぐるみで成果をあげられている甲賀市の大澤集落を訪問し、獣害対策アドバイザーの藤本氏より集落ぐるみで行う獣害対策についてお話を伺いました。

大澤集落は周囲を山で囲われた 18 戸 80 人の集落です。防護柵の設置によりイノシシの被害は少なくなり、被害対策はサルとシカが中心となっています。

集落では獣害対策の方針として①防護柵の保守、点検の徹底②ワナによる捕獲③サルの追い払い④草刈り作業の省力化の推進⑤情報の収集と共有化を挙げておられます。今回の研修では、特にサルの追い払いについて集落を挙げての取り組みをお話いただき、共同利用の京都大学式猿害防止柵の現地を見学しました。

集落で話し合いを積み重ね「誰かに任せるのではなく、自分から行動を起こすこと」を共通の理念を定着させておられました。研修の参加者も住民主体の対策で成果を上げている事に感銘を受け、改めて集落ぐるみの獣害対策の重要性を理解されたものと思われました。

今回参加された集落に対してフォローアップを行い、集落での話し合いができるよう支援していきます。



大澤の獣害対策について現地研修



共同利用の京都大学式猿害防止柵